

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育に重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校 目標】

○教科マネジメントやカリキュラムマネジメントを通して、問題発見・解決型の学習および指導と評価の一体化を目指した授業づくりを行い、人との関わりを通して主体的に考動する子どもを育成する。

【現状と課題】

○視点1 基礎的な技能や知識は身につけているが、問題解決に向けて自ら考え主体的に粘り強く学ぶ姿勢に欠ける。
 ○視点2 周りの目を気にして、自分の考えを述べたり新しい方法を試したりすることを躊躇する姿が見られる。
 ○視点3 地域との連携した学びは環境学習を中心に進んでいるが、教職員個人や分掌チームが学校運営に主体的に参画する場面が少なく、所属意識・連帯意識の醸成が必要である。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○4つの視点をもとにした「笠縫東型アクティブラーニング(問題発見・解決学習)」による授業改善を進める。	・児童アンケート「主体的学び」に関する質問項目に対する回答(5件法のポイント)平均4.2以上(5の割合が30%以上) ・児童アンケート「協働的な学び」に関する質問項目に対する回答(5件法のポイント)平均4.3以上(5の割合が40%以上)		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○教育観・学力観の共有と、校内研修・OJTを進め、学校組織内ソーシャル・キャピタルの向上と人材育成を図る。	・児童アンケート「素敵な聞き方話し方」に関する質問項目に対する回答(5件法のポイント)平均4.0以上(5の割合が40%以上) ・学級内ソーシャル・キャピタル蓄積状況に関する質問調査の回答(5件法のポイント)平均4.2以上(5の割合が40%以上) ・児童アンケート「自信」「意欲」に関する質問項目に対する回答(5件法のポイント)平均4.0以上(5の割合が30%以上)		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○教育観・学力観の共有と、校内研修・OJTを進め、学校組織内ソーシャル・キャピタルの向上と人材育成を図る。	・教職員アンケート「学校目標達成に向け合言葉や生活目標の指導を継続的に進めることができた」5件法のポイント平均4.2以上(5の割合が30%以上) ・学校組織内ソーシャル・キャピタル蓄積状況に関する質問紙調査の回答(5件法のポイント)平均3.8以上(5の割合が25%以上) ・教職員アンケート「組織的・継続的な校内研修や授業研究を行っている」5件法のポイント平均4.0以上(5の割合が30%以上)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために。

・4月の学校マネジメント会議において学校目標に依拠する「合言葉」の定着に向けた方針を確認し、組織的・継続的な指導に向けた共通実践の内容について、職員会議で周知する。また、取組事項は学校だよりやHP等で保護者や地域に発信する。

・毎週定例の打ち合わせでは、視点1および視点2に対する取組状況を交流する時間を確保し、組織的で継続的な実践を図る。また、視点1の授業実践については、毎週の学年会において実践交流を行い、「笠縫東型アクティブラーニング」の組織的・継続的な実践を図る。

・6月、11月の児童対象アンケート結果や、10月、2月の教職員対象アンケート結果、全国学力・学習状況調査等の調査結果を学校マネジメント会議で分析し、夏の校内研修や2月の次年度構想会議で改善策について協議する。

今年度の取組の成果と課題

--